

《活動報告》

囲碁同好会「新正会」活動報告

今年度の新正会は七人で活動しています。毎週水曜日の午後、会場は本丸公民館または本町公民館です。新井正彦顧問と松坂勝彦代表を指導者をお願いして、前半は布石や詰碁などの研究を全員で行います。どんな難しい問題であっても、新井先生が明快に答えを出してくださり感服の極みです。後半は対局の時間です。勝敗の結果については言い訳の効かない厳しいものですが、「ここを強気で攻めておけば」とか「この手は良かった」と健闘を称え合い振り返りをする事がとても大切で、親近感が高まり、勉強への意欲が湧いてきます。

それにしても囲碁の奥の深さは相当なものです。或る愛好会で、一人のメンバーの家族から囲碁研究に関する書籍を寄贈したいとの申し出があり、いつも公民館の隣



A組優勝盾受賞 新井会員

の部屋で活動している我が新正会にも提供して下さるようになりました。数個の段ボール箱に詰められた本は、およそ二〇〇冊あまり。圧倒的なその量にたじたとなりました。詰碁に関するもの、布石に関するもの、手筋や定石に関するものなど、上達への道のりが雲の向こうにかすむような思いでした。しかし、囲碁は脳トシやボケ防止に良いとされています。私のような初心者でも大丈夫ですので、一緒に囲碁の深みにはまってみてはいかがでしょうか。

埼玉県退職校長会囲碁大会報告

十月六日に第二十六回大会が別所沼会館で開かれ、新正会から自分を含めて三名が参加しました。最近は出場者が減ってしまったそうですが、担当の役員の方々が付きっきりでお世話をしてくださり、快適に対局に専念することができました。有段者から級位者まで十三名の参加者が上位から三つのグループに分かれて総当たり戦を戦います。その結果、

が、担当の役員の方々が付きっきりでお世話をしてくださり、快適に対局に専念することができました。有段者から級位者まで十三名の参加者が上位から三つのグループに分かれて総当たり戦を戦います。その結果、



B組優勝盾受賞 中山会員

新井正彦会員がA組四戦全勝で優勝、中山時次会員がB組二勝一敗で優勝、井上会員がC組二勝一敗で優勝となりました。これも会員の皆様のご理解・ご支援の賜物と感謝申し上げます。ありがとうございました。

(担当幹事 井上修一)



県大会で対局中の井上会員、中山会員、新井会員